

# 進路だより 第6号 (12月19日)

日本大学櫻丘高等学校 進路指導部



1年生対象 文理学部生講演会 (11/9実施) より

## はじめに

12月になり、受験生としては最後の追い込みの時期を迎えています。感染症の流行が気になる時期でもあります。体調管理に十分注意し、最後まであきらめずに取り組んで欲しいと思います。また、進路決定者は入学手続きを済ませるとともに、入学前課題や資格検定試験に向けて学習を進めるなど、有意義な生活を送りましょう。

1, 2年生にとっては、2学期は文系理系のコース選択や受験科目を見据えた科目選択など重要な節目となる時期でした。出張講義(1年生)や進路説明会(2年生)など、進路について考えるきっかけとなる行事も多く経験できました。すぐに答えはでなくても、視野を広げて考え続けることが大切です。加えて、授業を大切に基礎学力をきちんと高めていくことも重要です。階段を頑張って駆け上がり、高いところから周囲を見渡すと、より遠くまで見渡せるようになります。同様に、学習を重ねて自分のレベルが上がると、そこから見える景色は広がり進路に対しても新しい気づきが得られるかも知れません。

受験生はもちろん、1, 2年生にとっても充実した冬休みを過ごせるよう、祈っています。

## 今回の内容

- 1 【全学年】  
英検と大学入試について
- 2 【1, 2年生】  
進路説明会, 文理学部生講演会を開催しました
- 3 【1, 2年生】  
共通テスト同日体験にチャレンジ!
- 4 【3年生】  
いよいよ入試本番! 合格ラインを突破!

## 【今後の主な進路行事】

- 12 / 20 (金) 終業式  
/ 21 (土) 冬期特別講習  
~ 25 (水)
- 1 / 8 (水) 始業式  
/ 18 (土) 大学入学共通テスト  
~ 19 (日)  
/ 20 (月) 共通テスト自己採点  
/ 24 (金) 午後英検
- 2 / 6 (木) 1年進研模試  
2年G日大チャレンジ模試  
S進研共テ模試

# 英検と大学入試について

本校では、1月24日（金）に1，2年生全員及び3年生の希望者を対象に英検の学校受検を実施します。近年の大学入試で広がっている英語外部試験利用の方式について、概略を説明します。

英語外部試験利用入試は大別すると、主なパターンは次の2つです。

① 大学が定める資格・スコアを有していないと出願できない。

例1) 明治大（英語4技能試験利用方式）

以下の検定試験のうち1つを必ず有すること。

英検2級，TEAP225点以上，IELTS4.0以上など

② 共通テストや国公立2次・私大入試の英語の得点に換算する。

例2) 立教大（共通テスト利用入試）

文学部を除き，英語の独自試験を廃止。

英語資格・検定試験のスコア、もしくは共通テスト

「英語」のいずれかで評価される。

英検CSEスコア2,300点→共通テスト170点換算

英検CSEスコア2,450点以上→共通テスト200点換算など

日大付属推薦や指定校推薦でも，英検の指定級を取得していないと出願できない場合があります。

例3) 日大特別選抜 経済学部経済学科国際コース

英検2級・TOEIC470点以上などが必須

例4) 指定校推薦 学習院大法学部

出願要件「英検2級かつCSEスコア1980点以上」

※基準はすべて2024年度入試

## 英検CSEスコアとは？

英検は一次試験でReading, Listening, Writingの3技能を測り，二次試験でSpeakingの技能を測ることで，可否を判定します。

英検の成績表で技能ごとに表示されるスコアをCSEスコアと言います。CSEスコアが表示されるので，自分の得意・不得意がわかりやすくなっています。また，CSEスコアはどの級でも共通なので，受検級を変えても自分の実力の伸び具合がわかるようになっています。

各級の合格点は以下の通りです。

一次試験 (R/L/W)	二次試験 (S)
2級：1520	460
準2級：1322	406

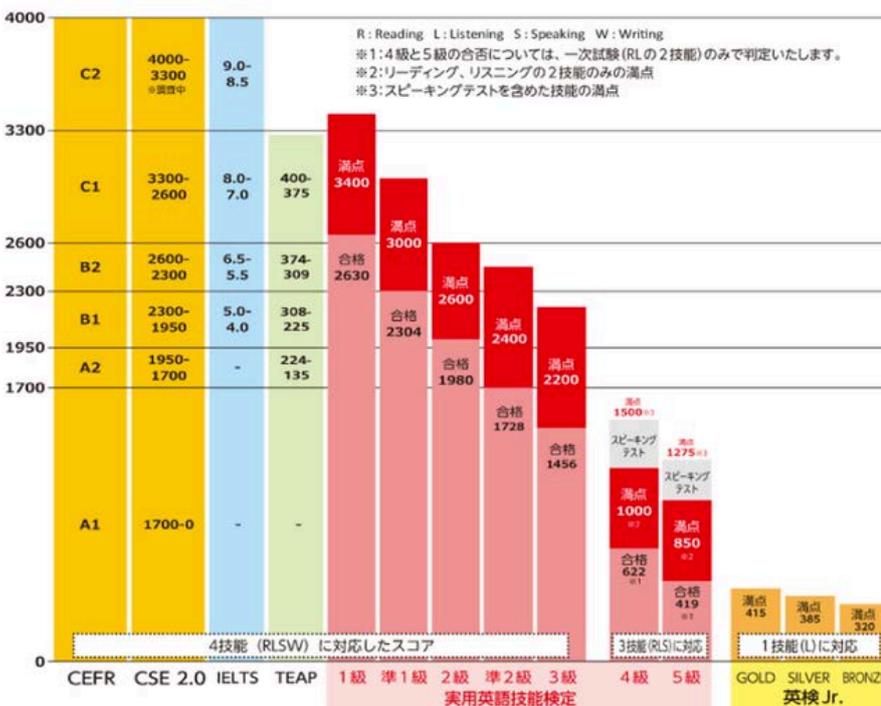
## 取得年月日に注意！

英検は一度取得したら一生有効の資格ですが，大学入試においては有効期限が定められている場合があるので注意が必要です。

多くの大学において，「出願日から遡って2年以内に取得したものに限り」という記載があります。

学校推薦型においては3年11月から出願開始となりますので，1年の11月以降に取得した資格である必要があります。「中学時代に2級を取得した」という生徒は素晴らしいのですが，大学入試においては活用できない場合があるので，十分注意しましょう。

## ※日本英語検定協会HPより



1年生 2年生

# 進路説明会，文理学部生講演会を 開催しました

11月9日（土）に，2年生対象の進路説明会を実施しました。

進路指導部の大山先生からは入試全般の概要から日大の付属推薦や基礎学力到達度テストに関するお話がありました。進学先や自分の適性についてさまざまな角度から考えつつ，目の前の学習にはコツコツと取り組むという姿勢を貫いて欲しいと思います。

説明会の後半では，卒業生数名にパネラーとして登壇してもらい，大学での生活や大学入試に関する体験談を語ってもらいました。身近な卒業生からのお話は，先生からのお話とは違った視点でさまざまな気づきがあったと思います。2年生3学期は「3年生0学期」と言われます。冬休みを良い機会に，本格的な受験勉強へと向かっていってほしいと思います。

2年生の進路説明会と同じ日に，1年生対象の「文理学部生講演会」を実施しました。文理学部次世代社会研究センター（RINGS）の協力を受けて，学生から見た大学や研究について講演をしていただきました。コーディネーターとして，情報科学科の大澤先生にもご登壇いただき，さまざまな学びを得ることができました。「失敗したっていいんだよ」「自分の気持ちに嘘はつくな」など学生のまっすぐな言葉がとても印象的でした。

## 2年生卒業生パネラーとして登壇してもらった卒業生

- ◆埼玉大学 教育学部
- ◆筑波大学 生命環境学群
- ◆明治大学 理工学部
- ◆日本大学 法学部
- ◆日本大学 経済学部
- ◆日本大学 理工学部
- ◆生物資源科学部 海洋生物学科

## 1年生文理学部生講演会に登壇してもらった学生

- ◆情報科学科2年
- ◆情報科学科3年
- ◆ドイツ文学科2年
- ◆大学院地理学専攻 博士後期課程3年
- ◆大学院教育学専攻 博士前期課程2年)
- ◆ドイツ文学科卒業生/JTB



1年生 2年生

# 共通テスト同日体験にチャレンジ！

1/18,19に大学入学共通テストが行われます。他大進学を目指す1,2年生は共通テスト同日体験にチャレンジしましょう。

**2年生の場合，1年後の本番を見据えて，GMARCH志望者は5割，早慶上理志望者は6割を目標としたいところです。**

同日体験は主に以下の2つの予備校で実施しています。

**東進ハイスクール**…東進ハイスクール各校舎で受験する。

新課程に対応した問題を一部の科目で出題する。

**河合塾**……………自宅受験（オンライン）

成績返却（1/22）もWeb上で行う。

## 申込みはQRコードから

東進ハイスクール  
同日体験受験  
申込みはこちら



河合塾  
共通テストチャレンジ  
申込みはこちら



# いよいよ入試本番！合格ラインを突破！

一般選抜に向けて、クラス担任との面談を通じて受験スケジュールを考えてきました。第1志望が固まった今、改めて「合格最低点」について確認しておきましょう。

**大学受験において満点は必要ありません。合格最低点（合格ライン）をクリアすれば良いのです。**各大学の合格最低点を調べ、このラインを上回るための戦略を立てていきましょう。もちろん年ごとの入試問題の難易度や倍率の変動、科目数や配点の変更などによって、合格最低点は上下します。それでも合格可能性を探る上で大きな指標となることは間違いありません。ここでは全体的な概略を説明します。各大学の合格最低点は、大学ホームページや「マナビジョン」などの受験サイトで調べてみてください。

## (1)私立大学

私大個別入試（3教科型）の合格ラインは70%、難関私大の共通テスト利用型では、80%以上の得点率が必要です。共通テスト併用型であれば、個別試験での逆転を考え70%台でも勝負できます。

## (2)国公立大学

昨年度の入試においては、医歯薬系や超難関校を除くと、共テにおいては、全体的に65%前後がボーダーラインでした。近年共通テストが難化した影響もありますが、先述の難関私大の「80%以上」という数字に比べると、意外とボーダーが低いと感じる生徒も多いのではないのでしょうか。

## 私大個別入試「7割」を超えるには

「3教科トータルで7割を超えれば良い」という意識で臨みましょう。安定して高得点を狙える得意科目で8割、苦手科目でも6割を目指すといった戦略が一般的です。3教科の得点率を「6・7・8」とします。**苦手科目の克服にばかり時間を割くのではなく、自分の武器である得意科目も磨いていくことが重要です。**

## 国公立は共テで「7割」を超えよう

目標得点を7割とした場合、5教科の割合を「6・6・6・8・9」と設定してはどうでしょうか。**得意科目は9割を目指し、準得意科目は8割をとる。ここまでとればその他の科目は「6割で良い」と考えると、少し肩の力が抜けるでしょうか。**

## 赤本貸し出し中！

図書室では12/3～1/11の期間で長期貸出しを行っています。赤本は最大8冊まで貸出しできます。図書室には主要大学の赤本はほぼ網羅されています。積極的に活用してください。

## Column

先日、ノーベル生理学・医学賞を受賞した大村智さんの講演を聞きに行きました。大村さんは、静岡県伊東市のゴルフ場の土壌から放線菌という微生物を発見し、この放線菌が生産する化学物質をもとに「イベルメクチン」という薬を開発しました。現在ではアフリカを中心に世界各地で年間4億人が服用する薬となっています。大村さんは、講演の中で基礎研究の重要性を語っていました。基礎研究とは、科学者が自身の好奇心や自由な発想に基づいて、新たな自然の原理などを見つけようとする研究です。再生医療や生成AIに関する研究のように、我々の生活に密接にかかわる「役に立つ科学」は重要です。一方で、一見何の役に立つかわからないけれど好奇心を原動力に未知の領域に挑んでいく基礎研究にも同様の価値があります。膨大な基礎研究の中から大きな発見や技術が生まれるのです。しかし、最近では国から配分される研究予算の多くは「役に立つ科学」に配分されており、基礎研究がないがしろにされているという現状があります。やせ細った基礎研究からは優れた発見は生まれにくい、という危機感が科学者の中では広がっています。

さて、皆さんにとって、目の前の勉強とはどのようなものなのでしょうか。自分の将来にとって役に立つものもあれば、役に立たないものもある、と感じている人もいるかもしれません。しかし、科学において一見役に立つかわからない基礎研究が大きな発見に結びつく可能性を秘めているように、目の前のさまざまな勉強こそが、あなたの将来の仕事や生きがいになる可能性を秘めているのです。何がきっかけになって今後の人生が大きく動いていくかは分かりません。まだ何になりたいか決まっていない、という人は何にでもなれる可能性を秘めているのです。自分にとって「役に立つかどうか？」という視点ではなく、「まずはやってみよう！」という前向きな姿勢を持ってほしい。教養豊かな魅力的な大人へと成長してほしいと思います。

(進路指導部主任 理科 大山啓明)